

宮崎県キャリア教育 支援センター通信



キャリア教育支援センター
公式WEBサイト

トピックス

1. よのなか教室の活用
2. 今号のピックアップ動画
3. 活動日誌より
4. コーディネーターのオススメ書籍

「夢なき者は理想なし、理想なき者は信念なし、信念なき者は計画なし、計画なき者は実行なし、実行なき者は成果なし、成果なき者は幸福なし、ゆえに幸福を求むる者は夢なかるべからず。」毎回楽しみに観ていた大河ドラマ「青天を衝け」の主人公、渋沢栄一の～夢七訓～です。県キャリア教育支援センターの様々なプログラムが、みやざきの子供たちの「夢を育む」一助になれば幸いです！

編集担当：コーディネーター 西立野 康弘

よのなか教室の活用、進んでいますか？

「よのなか教室」とは、地域の大人に「よのなか先生」となってもらい、仕事内容や働きがい、キャリアプランについて語ってもらうことで、子どもたちにとって視野を広げ、将来を考えるきっかけにするプログラムです。実施校からは、「学ぶ意欲の向上に繋がった」等ポジティブな声が寄せられています。また、一度だけでなく複数回の実施や、立志式・職場体験学習との連携による相乗効果も期待されています。さらに、かつては「聴く」講話型が主流でしたが、「体験型」「対話型」のニーズの高まりを受けて、よのなか教室もシフトチェンジ。時節柄気になる学校外部の方との接触を避けることも、オンラインを活用するなどの調整により可能です。実施プログラムにお困りの際はお気軽にご相談ください。

<まずやってみよう>

はじめてのよのなか教室

よのなか先生のお話を通して、学ぶ意味や将来について考えるきっかけにすることができます。仕事内容だけでなく、「これからの時代に必要なスキル・マインド」等、リクエストしたいテーマに合わせた実施も可能です。

<次にオススメ>

よのなか教室 複数回実施

複数名のよのなか先生のお話から、多様な生き方・働き方に触れることができます。例えば、身近な職業だけではなく、これまで聞いたことがない仕事、まだ一般的ではない働き方についても知ることで、視野を広げることができます。

<ぜひご検討ください>

よのなか教室 × ●●

将来の目標や決意を立てる立志式。事前学習としてよのなか教室を実施することで、どんな大人になっていきたいか、子どもたち自身が深く考えたり、具体的にイメージできることにより、自分の言葉で表現することをサポートします。

今号のピックアップ動画

株式会社ヤッシュ 代表取締役 河野 亘さん

河野さんは、日向市を中心とした地元の中小企業のホームページを作る仕事をされています。高校では勉強せず落ちこぼれだったそうです。大学進学後も将来を描けず、休学してソフトウェア会社で仕事をされる中で、将来は地元の高校生が就職できるような会社にしていきたいと考えておられます。一念発起し徹底して勉強し、自分のやりたい事を見つけられました。一旦は都会に出て、いろいろな経験を積んで地元に戻ってくることで視野が広がり、地元にはない仕事生まれる、と熱く語っておられます。

時間：7分00秒 制作：2021年6月



☆「おしえて！よのなか先生」の動画は随時追加されています！ぜひご覧ください！

キャリア教育支援センターWEBサイトの「活動日誌」から事例を紹介します
サイトではコーディネーターが関わる全活動を掲載していますので、ぜひご覧ください

飯野中学校にて、初めて高校生が先輩役となる「ひなた場」を開催

11月10日（水）、えびの市立飯野中学校にて、高校生を先輩役に迎えた「ひなた場」を開催しました。「ひなた場」とは、生徒と地域の大人がお互いに人生を語りあうことを通して、将来を考える対話型のキャリア教育プログラム。個別に人生について語り合う「対話」と、大人がこれまでの人生を紙芝居形式で話す「人生紙芝居」の2つで構成されています。これまでは地域の大人や大学生が先輩として参加してきましたが、今回は県内初の試みとして高校生が先輩役を務めました。



参加したのは飯野中学校の3年生56名と、飯野高校探究コースの3年生36名。高校選択が間近に迫った中学3年生の時期に身近なロールモデルとして高校生の話を聞けることの影響は大きく、将来のことや高校選択のこと、受験勉強の方法や日常の悩みなど様々な相談が行われていました。また、高校の先生からも、推薦入試が目前のこの時期に自分の経験を棚卸しし、中学生に分かりやすく話をする意義は非常に大きい、と好評をいただきました。

「ひなた場」は対話型のプログラムであるだけに、必要な大人の人数が多く、これまで規模の大きい学校では開催しにくい状況でした。高校生を先輩役に迎えることで、開催のしやすさ、また新たな中高接続の取り組みとしても可能性が広がりました。

宮崎での多様な「働く・暮らす」魅力を知る動画を制作中です！



コロナ禍の中でも県内企業の魅力や県内で働く意義を知る機会を損なわないために、県内企業を20社選定し、働く人の様子を撮影し動画にしています。この動画は7分程度に編集し、宮崎で働く魅力的な人を通じて宮崎で「暮らす」魅力を収録。

今回は、海産物の卸業者の方に協力いただきました。動画の内容は、仕事のやりがいや苦勞の経験、仕事に着くまでの経緯など人に焦点を当てたものになっています。

様々な生き方や働き方をしている宮崎県内の大人の姿を見て、生徒自身のキャリアデザインを描く参考になる情報等を発信していきます。

水永コーディネーターより、お薦めの本を紹介します



AIに仕事を奪われない！読解力を身に付けることが大事

- 本書は、前著「AI vs.教科書が読めない子どもたち」につづく第二弾です。
- ・ AIが苦手とする読解力を人間が身に付けるにはどうしたらいいのか？
 - ・ 読解力向上のために、親・学校・個人ができることを提言。
 - ・ 小学校、中学校で実際に行われて、成果をあげている授業・取組みを公開！
 - ・ 大人が読解力を身につける方法も明らかにする。

「学校では、文章を書かせるものよりも、穴埋め式のワークシートが多用されている。そのために先生が黒板に板書したものを写し終えることができない子供たちがたくさんいる。」という指摘にはハッとさせられました。そして、意味がわかって読む子どもに育てるために、小学校・中学校それぞれに授業案が提案されています。（推薦者:水永）

著者：新井紀子
出版社：東洋経済新報社
発売日：2019/9/19